

空き家、ありませんか？

定住希望者に空き家を紹介。日野郡で『ふるさと探し支援事業』

いま、定年退職後などに「第2のふるさと」を探して、都会から田舎へ定住する人が増えています。

ここ日野郡でも、そうした「ふるさと探し」を支援する、『ふるさと探し支援事業』の取り組みが始まりました。



田舎暮らしの仲介役を担う

『ふるさと探し支援事業』は、郡内にある空き家の情報を集め、その情報を定住を希望する人に紹介する事業です。県日野総合事務所と郡内3町の役場が連携して、今年1月からはじめました。

きっかけについて、日野総合事務所県民局県民課の村上 衡課長は、「国勢調査の結果でも明らかのように、人口の減少が続いている中、一方で『団塊の世代』と呼ばれる人たちが定年退職を迎えるという、いわゆる『2007年問題』が注目を集めています。そうした人のうち、退職後の第2の人生を送る場として田舎に定住しようとする人が増えています。このような需要は前からあったと思いますが、今までは、定住に適した空き

家の情報を提供するような仕組みがありませんでした。そうした状況の中で、郡内にある空き家の情報を集約し、定住希望者に提供しようと、このたびこの事業を始めました」と語りました。

空き家の情報を

定住希望者に提供

まちでは、役場総務企画課が窓口になり、町内の空き家情報や、定住希望者の登録を行っています。

町内にある利用可能な空き家の情報を所有者が登録すると、まちのホームページなどに情報を掲載し、定住希望者に情報提供します。

また、県外などから日野町に定住を希望する人は、空き家利用希望者として登録、空き家情報を提供します。



あこがれる人の多い、清流と山々に囲まれた田舎暮らし。

担当の総務企画課、稲田いずみ主事は、現状について「この事業のことが新聞などで報道されてから、日野町に定住したいという問合せが何件も入ってきています。今は、寄せられた空き家情報をもとに、空き家の持ち主の方に登録をお願いしている段階で、実際に物件を紹介するところまでは至っていません。定住を希望している方の多くは、庭や家庭菜園などのある一軒家を希望されています」と話し、また、「この事業の目的は、一人でも多くの方に日野町に住んでい

ただき、まちを活性化していくことです。そのためには皆さんの協力が欠かせません。移住してこられた方たちを地域にあたたかく迎え入れていただけたらと思います」と呼びかけました。まちの情報をどうやって提供していくかが課題

くかに懸かっていると思います。今は実際に空き家を提供する段階にまでいっていませんが、成功事例を一つでもつくって、それをもとにPRしていきたい」と展望を語りました。また、「定住希望者が多くなれば、一度皆さんを集めて、日野郡の見学ツアーを開いてみたい」とも。すばらしい自然や文化をもったまち日野町。ここを「第2のふるさと」にする人がどこかにいるかもしれない。空き家や定住希望者の情報をお持ちの方からのご連絡をお待ちしています。

利用可能な空き家を探しています。

まちでは、町内へ定住を希望される方のための空き家（借家）を探しています。利用可能な空き家（借家）の情報がありましたら、役場総務企画課までお寄せください。

お寄せいただいた情報はまちが管理し、公開をご了解いただいた物件についてはホームページなどに掲載し、入居者を募集します。

●連絡先・問合せ

役場総務企画課

担当 稲田（電話 72 - 0331）

